

2023年1月26日

各 位

オリックス株式会社  
富士物流株式会社

## 太陽光発電システムの第三者所有（PPA）モデル 富士物流「三重物流センター」に導入

～CO<sub>2</sub>排出量の削減と余剰売電による創エネで環境問題に対応～

オリックス株式会社（本社：東京都港区、社長：井上 亮）と三菱倉庫グループの富士物流株式会社（本社：東京都港区、社長：奈良場 三郎）は、このたび、富士物流の三重物流センターA 棟（三重県四日市市）に、オリックスが太陽光発電システムを設置・発電し、富士物流が電力供給を受ける第三者所有モデル（以下「PPAモデル」）を導入し、本年1月より稼働を開始しましたのでお知らせします。

PPA モデルは、電力需要家の敷地や屋根などを第三者が借り受けて太陽光発電システムを設置し、発電した電力を需要家に供給する事業です。オリックスは、三重物流センターA 棟の屋根に 801.00kW の太陽光発電システムを設置・運営し、日中は富士物流に CO<sub>2</sub>フリーの電力を供給、また夜間や悪天候時は小売電力事業者として電力を供給します。三重物流センターA 棟は、屋根面積の大きさに対して建物内で使用する電力が少なく、済む常温対応型施設のため、発電量の約半分を余剰売電するなど、創エネルギーへも寄与します。

富士物流は、本取組により、三重物流センターA 棟における使用電力の CO<sub>2</sub> 排出量を約 70%削減します。また、本 PPA モデルで調達する電力料金単価は、これまでの電力料金単価より約 45%低減される見込みです。

富士物流は、三菱倉庫グループが掲げる CO<sub>2</sub> 排出量削減目標<sup>※1</sup>の達成に向け、太陽光発電による電力供給や倉庫内照明の LED 化による消費電力の削減等を引き続き推進します。

オリックスは、国内外で太陽光、バイオマス、地熱、風力などの再生可能エネルギー発電事業を積極的に推進しています。国内で稼働する発電所の設備容量は約 930MW の規模を有し、太陽光発電においては、地上設置型で約 100 カ所、屋根設置型で約 500 カ所の所有・運営<sup>※2</sup>をしています。

両社は、今後も持続可能な社会の実現に向けて貢献してまいります。

※1 物流施設および不動産施設における CO<sub>2</sub> 排出量を 2030 年度に 50%削減（2013 年度比）

※2 2022 年 9 月末時点

以 上

<本件に関するお問い合わせ先>

オリックス株式会社 グループ広報・渉外部 井上・前田 TEL：03-3435-3167  
富士物流株式会社 経営企画部 朝倉・座間 TEL：03-5476-8672

## ■設備概要

対象施設	富士物流株式会社 三重物流センターA 棟
所在地	三重県四日市市富士町 1-27
延床面積	約 16,351 m <sup>2</sup>
太陽光パネル設備容量	801.00 kW
太陽光パネル枚数	1,800 枚

## ■富士物流 三重物流センターA 棟

